

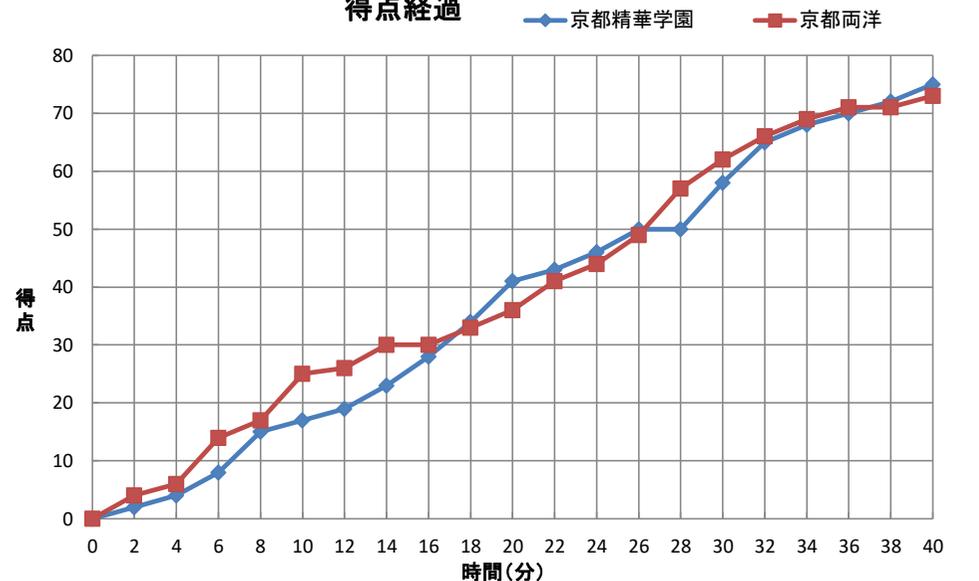


第71回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		令和6年6月23日		13:10 開始													
決勝		和歌山ビックホエール		M													
◎ 京都精華学園 75 (京都)		<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>25</td></tr> <tr><td>24</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>11</td></tr> </table>		17	1st	25	24	2nd	11	17	3rd	26	17	4th	11	73 京都両洋 (京都)	
17	1st	25															
24	2nd	11															
17	3rd	26															
17	4th	11															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	林 咲良	13	2	2	3	1	1	ユネス カオナラ ボルツナフェ	0	0	0	0	1				
* 5	橋本 芽依	11	2	2	1	0	* 2	杉山 心月	17	4	1	3	4				
* 6	桃井 優	6	0	3	0	0	3	森口 笑来美	-	-	-	-	-				
7	大久保 舞奈美	-	-	-	-	-	4	片山 志歩	-	-	-	-	-				
8	山口 優利亜	2	0	1	0	0	5	高原 綾乙	-	-	-	-	-				
9	金丸 千蓮	-	-	-	-	-	7	木谷 夢菜	-	-	-	-	-				
10	吉田 ひかり	0	0	0	0	1	* 8	谷口 心綾	4	0	2	0	4				
11	石井 日菜	2	0	1	0	1	* 9	岡田 彩葉	21	1	7	4	3				
12	谷 彩南	2	0	1	0	1	* 14	ピクトリア ウビ オコイ	15	0	5	5	1				
13	満生 小珀	2	0	1	0	0	17	大西 凜子	-	-	-	-	-				
14	金谷 悠加	6	2	0	0	0	18	中野 有佳子	2	0	1	0	0				
15	ンガルラ リヤ	13	0	4	5	1	24	中島 苺	-	-	-	-	-				
* 16	石渡 セリーナ	6	0	3	0	3	26	藤田 瑞木	-	-	-	-	-				
17	坂口 美果	0	0	0	0	1	* 69	廣浦 杏	14	1	4	3	1				
* 18	ユサフ ボランレ	12	0	5	2	3	77	林 英美	0	0	0	0	2				
コーチ	山本 綱義						コーチ	吉田 聡									
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	甲良 泰明									
合計		75	6	23	11	12	合計		73	6	20	15	16				
クルーチーフ: 村田 尚美																	
アンパイア: 小松 綾実 高橋 直子																	

得点経過



TO	1・2Q		3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	28:18	39:48.6	:	:	:	:
TeamB	3:26	15:53	32:49	39:48.6	39:52.2	:	:	:

〔戦評〕

〔第1Q〕
京都対決となった決勝戦。先制は京都両洋#69のレイアップシュート。すぐさま京都精華#6が取り返す。お互い一歩も引かない攻防が続く。京都精華はマンツーマン。京都両洋は2-3ゾーン。先に主導権を握ったのは、京都両洋。#8のポストプレー#69の3Pシュートを決めるなど京都両洋が流れをつかむ。対する京都精華も#6のドライブで果敢に攻めるもなかなかリズムが取れない。京都両洋は#9を中心に得点を重ね、17対25で京都両洋がリードして第1Q終了。

〔第2Q〕
開始2分、京都精華#18が個人ファウル3つとなり、ベンチに下がる。一気に京都両洋に流れが傾くかと思われたが、京都精華は交代した#11#13#14が、速い展開から果敢に攻め、流れが少しずつ京都精華に傾く。残り4分で京都両洋たまたまタイムアウト。しかし京都精華の勢いは止まらない。京都精華#15がリング下シュートで得点を重ね、残り2分京都精華が逆転に成功。疲れが見え始めた京都両洋に対し京都精華はランニングプレーで一気に引き離しにかかる。終了間際、京都両洋#9が流れを断ち切る3Pシュートを決め41対36京都両洋リードで前半終了。

〔第3Q〕
開始早々京都両洋#2が3Pシュート、スティールからの速攻、#69の3Pシュートで流れを引き込む。対する京都精華は#14の3Pシュートで応戦するが勢いが止まらない。流れに乗った京都両洋は#2#69#77の気迫あふれるプレーで逆転。しかし、京都精華#5が冷静にプレーを続け2本連続で3Pシュートを決め、流れを呼び戻す。58対62で京都両洋リードで第3Q終了。

〔第4Q〕
流れを引き寄せたい京都精華は#4が2回連続でバスケットカウントを決め気迫のプレーを見せる。その後も#4が果敢に攻め開始3分で京都精華が逆転。しかし京都両洋も#2#14が気力のプレー。両チーム一歩も引かない攻防が続く。残り7秒、京都精華#5のフリースロー後の京都両洋は最後の攻撃。しかし、京都精華が逃げ切り、75対73で京都精華が勝利した。会場が大歓声に包まれる白熱した試合だった。

戦評: 古久保 亜伊 記録: 向陽